

平成28年10月27日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について 第2回定例会議(第二部会)

東北地方整備局入札監視委員会の平成28年度第2回定例会議(第二部会)が、平成28年10月4日(火)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第2回定例会議では、委員会が抽出した案件6件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

(第二部会) 仙台市青葉区本町3丁目3番1号 TEL (022) 716-0013(ダイヤル)

契約管理官	なか 中	しま 嶋	かつ 勝	まさ 正 (内線6221)
経理調達課課長補佐	やま 山	だ 田	こう 耕	へい 平 (内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成28年10月4日（火） 東北地方整備局 会議室		
委員	部会長 高橋 敏彦 【(学) 東北工業大学 工学部 教授】 部会長代理 是川 晴彦 【(国) 山形大学 人文学部 教授】 委員 我妻 崇 【弁護士】		
審議対象期間	平成28年4月1日～平成28年6月30日 (上記期間に契約締結した案件を審議)		
審議案件	総件数 6件 (別紙ー1 審議案件一覧のとおり)		
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	2件	(備考) ・審議に先立ち、 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告が行われました。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	1件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙ー2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格 を確認した者の 数	入札参 加者数	契約締結日	契約の 相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式 (政府調達に関する 協定適用対象工 事)	大船渡港湾口地区 防波堤(災害復 旧)上部外工事	港湾土木工 事	3者	2者	H28.4.20	若築・あお み 特定JV	804,600	97.71	金石港湾
一般競争入札方式 (政府調達に関する 協定適用対象工 事)	小名浜港東港地区 岸壁(-18m)(耐 震)本体工事	港湾土木工 事	5者	5者	H28.4.25	東亜・大本 特定JV	1,431,000	89.34	小名浜港湾

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格 を確認した者の 数	入札参 加者数	契約締結日	契約の 相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式 (政府調達に関する 協定適用対象工 事以外のもの)	小名浜港灯浮標外 点検整備工事	港湾土木工 事	1者	1者	H28.6.3	(株)イワキ 潜建	10,152	99.59	小名浜港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業務区分	手続きへの参 加資格及び業 務実施上の条 件を満たす参加 表明書の提出 者数	技術提案 書の提出 者数	契約締結日	契約の 相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	仙台塩釜港外品質 監視等補助業務	建設コンサル タント等	1者	1者	H28.4.1	(一財)港湾 空港総合技 術センター	225,936	94.43	塩釜港空
簡易公募型プロ ポーザル方式	酒田港外港地区国 際物流ターミナル機 能強化検討業務	建設コンサル タント等	3者	3者	H28.6.15	(株)ニュー ジェック 東北支店	24,732	99.91	酒田港湾

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格 を確認した者の 数	入札参 加者数	契約締結日	契約の 相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	むつ小川原港ドック ゲート修理工事	物品の製造 役務の提供 等	1者	1者	H28.6.28	三菱重工業 (株)	286,200	98.73	仙台技調

1. 報告	
意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営事項審査とはどのようなものか。 ・ 特定建設業の許可を受けていない場合、下請契約が制限されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営事項審査とは、企業の経営規模や経営状況等を審査するものであり、公共工事を直接請負う場合にはこの審査を受けていなければならないと建設業法で定めています。経営事項審査は有効期間が設けられており、この業者は有効期間が切れているにもかかわらず公共工事を受注していたことから指名停止となったものです。 ・ 特定建設業の許可がなければ、政令で定める金額以上の下請契約を締結することができません。

2. 審議	
意見・質問	回 答
1 大船渡港湾口地区防波堤（災害復旧）上部外工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者の入札価格を比較すると入札額の差が大きい。予定価格を超過した者の入札価格が高い理由は何か。 ・ 入札価格が低い者は、受注の意欲が強く、それらのリスクなどを入札価格に反映させなかったことか。 ・ 入札を辞退した者がいるが、辞退した理由は何か。 ・ 再度の入札までの間にヒアリングとか調整をするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、別件工事で据付けるケーソンに上部工を施工するものであり、ケーソン据付け工事の影響による作業工程の遅れや作業現場の輻輳などの懸念があること、また、あまり前例のない防波堤灯台2基の製作・設置が含まれていることなど施工に対するリスクが考慮され、入札価格に反映された結果ではないかと推察しています。 ・ そうではないかと推察しています。 ・ 辞退した者は、配置予定技術者を別の入札案件にも重複して申請しており、最終的に別工事を優先したことから辞退したと聞いています。 ・ 再度入札の実施日時を通知しています。
2 小名浜港東港地区岸壁（-18m）（耐震）本体工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震岸壁と通常の岸壁では構造的にどこが違うのか。 ・ 入札価格の多くが調査基準価格に近いが、このような状況は工事内容に影響されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震岸壁は、構造全体として耐震性を確保しており、例えば栈橋構造の場合、杭の配列や規格などに違いがあります。 ・ 栈橋構造の杭を打設するという技術的に難易度が高くない工事内容となっていたことから、入札価格に差が出なかったかもしれません。

<p>3 小名浜港灯浮標外点検整備工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札に参加可能と思われる者がB等級で26者もいる中、実際の入札参加者が1者だったのはなぜか。 ・灯浮標整備工事を受注するは、防波堤工事とかを施工する建設会社が多いのか、それとも専門の会社が多いのか。 ・点検作業は、前回請け負った者が続けた方がよいとかいうことはないのか。 ・このような工事は、コスト面とか考えると、やはり地元企業の受注が多くなるのか。遠方の地域から入札参加して受注することは少ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興工事がまだ多い状況で、本工事は、規模が小さいにもかかわらず定期的に海上での点検など年間を通して技術者が拘束されることから、工事規模の大きい工事を優先するため参加を見送ったのではないかと推察しています。 ・地域で海象条件などに特性があり、現地を熟知している地元企業が受注する傾向が多いと思います。 ・適切に点検し灯火の機能を維持してもらえばよいので、誰が受注しても構いませんし、前回請け負った者が有利ということもないと思います。 ・点検など定期的に巡回する必要もあり、遠方の地域の企業だと移動のための経費も必要となりますので、コスト面では地元企業に若干のメリットがあると思います。また、他港での同種工事でも地元企業が受注する傾向にあります。
<p>4 仙台塩釜港外品質監視等補助業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・補助業務を行う技術者は、それぞれ担当する現場に行き出向のような形で業務をするのか。 ・業務の期間は1年間が通常だと思うが、この業務では2年間となっているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当技術者は、事務所の近くの民間ビル若しくは事務所内の貸与スペースに入居し、そこから施工現場に出向いて現地確認や確認結果の報告などの業務を行います。 ・以前は単年度でしたが、複数年度契約であれば計画的な技術者の配置が比較的しやすいということから、民間事業者の参入を促し競争性を高めるため、発注者支援業務については可能な範囲で複数年度契約を行っています。
<p>5 酒田港外港地区国際物流ターミナル機能強化検討業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書の提出者を選定する際に評価項目に「業務成績」という項目があるが、どのように評価するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の業務が完了する都度、業務成績評価基準に基づく業務成績評定点を付与しています。本業務における評価対象者が過去実施した業務に対する業務成績評定点の平均点を算出し、その平均点により評価を行っています。
<p>6 むつ小川原港ドックゲート修理工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格を有する者は、かなりの数となっているが、1社のみ参加した理由は何か。 ・規模の大きなドック施設を持ってないと難しい工事なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格を有する者は多数おりますが、この内、過去の修理実績など施工実績を有する者は28者程です。また、本工事の施工に必要なドック施設の空き状況や配置技術者の確保などからその多くが競争参加申請を控えたものと推測しています。 ・修理するドックゲートは横幅が約26m、高さが約15mの大きさがあり、これをドライな状態で修理しなければならないことから、規模の大きなドック設備が必要です。したがって、このような設備を保有しているか、または借りることになりますが、借りるとコストがかかるため、設備を持っている者が参加してくるという状況となっています。